

2022 年度第 6 回理事会報告(サマライズ版)

日時: 12 月 8 日(木) 13:00 ~ 17:03 会場: 損保会館 2F 大会議室 出席者: 全 18 理事、1 監事

小田島会長(代表理事)挨拶・業務報告

コンベンション会場での諸々の挨拶、理事・監事・他役員がリアル集合し、一堂に会しての理事会へ参集に対して謝辞が述べられ、早速業務報告に入った。

業務報告: 1. 6 つのブロック・代協への訪問(リアル参加で高揚感を覚えた)、2. 全委員長との諮問事項打合せ(各施策の本質の浸透策に要注力)、3. 消費生活相談員との懇談会参加(消費者目線の再確認ができた。体制整備・顧客本位の高度化を推進しよう)について報告があった。

審議事項 詳細は議事録・資料参照

1. 2023 年度日本代協事業計画の検討 「提言への対応案」は添付資料のとおり。

提言に対する本日の議論を踏まえて対応案を 2023 年度事業計画に織り込み、3 月臨時総会にお諮りする。

2. 日本代協アカデミーのコンテンツ充実計画案

体制整備や顧客本位の業務運営の高度化を標ぼうする会員の後押しをするため、学習コンテンツにニュートフ社 OCM 提携メニューを、情報提供コンテンツにブレインマックスの進化系版や GoGo 情報探検隊の進化版を作成・掲載するために、年間 700 万円ほどの予算を確保する。

(日本代協アカデミーのシステム改定と利用料金改定の頭出し提案)

9 月理事会で「改定の必要性とそのための利用料金の納付方法改定」が承認され、実践中である。システム疲労によるダウン、使い勝手の向上のためプラットフォーム移行は不可欠、安定運営の目標とした 1,000 店利用・10,000ID に対し、769 店・7,165ID。大規模会員区分の当初料金設定が杜撰であった。激変緩和措置について交渉中である。新システムの顔と合わせて 1 月中旬にお示しし、利用料金と合わせ、臨時 Web 理事会の招集を要請している。

3. 仲間づくり推進 2023 年度入会目標がドライン

昨年、シンプルに分かりやすく改定した試算テーブルに則り、「みなし専業非会員数×2%」+「みなし ALL チャンネル非会員×0.1%」を入会目標数とする。組織率が 80%以上となる 3 代協(京都・徳島・香川)はオールチャンネルベースのみの適用とする。

4. 2022 年度仲間づくり推進 増強キャンペーンの実施

昨年は入会・増強の W キャンペーンであったが、今年度は「±ゼロ以上キャンペーン」とし年度通算の減店脱却・増強を表彰する。実施期間は 2022 年 12 月 9 日 ~ 2023 年 3 月 31 日として、顕彰は達成代協へ 20,000 ポイント進呈とする。

5. 企画環境委員会委員の交代

九州南 B の企画環境委員の交代が承認された。鹿児島_日新保険センター谷口範行氏が企画環境の新委員となる。

報告事項

1. 各理事からの報告(地域担当理事、委員会担当理事) 詳細は議事録・資料参照

・情報連携を密にするために LINE グループを作成するブロック・代協が多い。(事務局の参加も増えてきている) 今年度は相当数の代協が三冠王を獲得すると予想できるので、今から C チェック・A アクション指差し確認を励行する。

入会数目標達成への段取り、改定となる新アカデミーの利用勧奨の体制の確保など計画練り直しが必要である。

・(企画環境) 代理店価値向上策(シキョクイ、社労士診断認証、RM 講座)の委員会としての企画イベントは終了した。オンデマンド視聴のためのチラシは HP の書庫内に掲載済 = 視聴勧奨をお願いします。取組の意義・本質を浸透させたい。(教育)2023 コンサル受講申込がスタート。12/8 時点 130 名(前年 157 名)とそろり発進 2 カ月間、受講勧奨をお願いします。TP 新規認定式典は 12/16 の Web 開催、顔写真入認定カードが漸く年度内に実現する(880 円)。

三冠王のアカデミーの加付は、2023 年 3 月末、新システムの利用料金の支払済会員・ID を加付する。大型層には、既利用会員として激変緩和措置を利用できるよう今、現システムのアカデミーの利用を推進することが望ましい。本質は利用登録ではなく、「活用」である。代理店経営、業務品質の高度化には欠かせない仕組みである。

(組織)7 代協が入会目標を達成済の一方で 5 代協が入会「0」である。要請いただければ個別支援も実施する。保険会社の代協担当窓口の設営・セミナー運営・コンサル受講勧奨等連携しながら、活動活性化し、ファンを増殖していこう。(CSR)ぼうさい探検隊は 232 団体・208 マップ(昨年 184 団体・282 マップ)の提出で、全 47 代協が目標達成した。ご協力・ご健闘に感謝。課題は、100 人の一歩体制の構築と早期着手と捉えている。

(広報)PR 企画は、トータルプランナーがストレートに伝わる動画が完成したと自負している。2023 年 1 月 1 日 ~ リリース予定。90 秒動画 3 本(FP が語る TP、体験者が語る TP、利用者が語る TP)を準備した。

2. 10/14 以降の主な業務報告 詳細は議事録・資料参照

(1)コンベンション実施報告、(2)仲間づくり推進、(3)日本代協アカデミー、(3) 損保大学課程、(5)代理店サポートデスク、(6)災害に便乗した悪質な業者対策、(7)活力研予定、(8)日本代協 2023 スケジュール一覧、(9)PIAS 研修の開催_(中止が妥当の判断)

3. 情報提供 詳細は議事録・資料参照

・11/29 東京代協「活力研セミナー」生い立ち・背景・意義・取組を確認する 2012 年制作レジュメ利用

以上